

⇒

## 中部地方整備局、愛知県、名古屋市と 技士会現場技術者との意見交換会

令和3年8月2日（月）午後1時30分  
から名古屋市中区丸の内のアイリス愛知  
2階「コスモスの間」で現場技術者と中  
部地方整備局、愛知県建設局、名古屋  
市緑政土木局が参加して意見交換会が開催  
されました。

意見交換会の開催に先立ち、技士会の  
市川和邦会長から『この意見交換会は働  
き方改革や生産性の向上などの将来を踏  
まえた諸施策について、実際に現場で働  
いている技術者から率直な感想・意見な  
どを聞き、今後の制度設計の参考とした  
いという行政側からの意向を受けて実施  
するものです。現場で直面する課題や改  
善への提案を積極的に発言してください。』との挨拶がありました。

続いて、中部地方整備局川上技術調整  
管理官から「建設業界を巡る課題が顕著  
な状況になっている。ひとつ目は、技能  
者の高齢化とともに若手がなかなか入っ  
て来ない状況が他産業に比べ顕著だとい  
うこと。二つ目は、週休二日とかいった  
職場の環境が劣っているということ。三  
つ目は、災害復旧や老朽化が進んだイン  
フラの維持管理が地域から熱望されてい  
ることである。本日参加している若手や  
中堅、週休二日や ICT といった各種課題  
に果敢に取り組んでいる方々と意見交換  
をすることは非常に大事な機会だと思っ  
ている。中部地方整備局としてこれらの

課題に取り組んでいるが、発注者のみ  
ならず技術者の皆さんと一緒に解決して  
いくことが重要であると思っているので、  
ざっくばらんな意見を聞かせてほしい。」  
との挨拶があり、続いて愛知県建設局廣  
瀬建設企画課長から「技術者のみなさん  
がエッセンシャルワーカーとして社会イ  
ンフラの整備や維持管理を始め災害への  
備えといった社会が求める建設業の役割  
にしっかり対応していることに感謝して  
いる。本日のテーマである働き方改革や  
生産性の向上は、官民連携のもとしっか  
り取り組まなければならない最重要のテ  
ーマであると思っている。愛知県とし  
ても先導している中部地方整備局の取  
組みを参考にしながら、週休二日制工  
事を始めとする働き方改革やDXによる  
生産性の向上について、要綱等を改定  
するなど改善を進めている。本日は現  
場の抱える課題やアイデアなど技術者  
の皆さんと率直に意見を交わし、リア  
ルな声を聞いて今後の建設業界の魅  
力を向上させる施策に役立てていき  
たい。」との挨拶が、名古屋市緑政土  
木局森下技術指導課長から『建設業  
における働き方改革は非常に重要な課  
題だと強く認識している。本日はコ  
ロナ対策や熱中症対策など現場が大変  
な中、現場の皆さんの意見を聞く機  
会であるので、しっかり中身を聞いて、  
今後の業務につなげていきたい。』との  
挨拶が

ありました。

意見交換会に入り、出席者から直面する問題点や改善のための提案、意見が活発に出されました。

まず、週休二日制について「体力の回復や家族サービスなど日曜日だけが休みの時に比べ、良い面が多い。」「新入社員は週休二日が当たり前という認識であるので、この制度が浸透すれば建設業に人が入ってくる。」「県外から来ている職人さんは1回の休みよりも長期休暇にして地元に戻りたいという者もいる。」などの意見が出されました。

中部地方整備局からは、「週休二日でない就職する気もないというのが現実。この問題を解決するためには現場を週休二日でやっていけて、生産性も上がるように変えるということ。このためにはどうしたら良いかという話で、発注者と受注者と協力していきながら環境を変えていくしかないと思っている。」などの回答がありました。

次に、生産性の向上については、「書類の簡素化については、ASP を利用することで紙ベースがなくなり省力化につながっている。」「ドローンを飛ばすのに許可であったり、資格が必要であったりして、使われていない現状がある。」「検査で Web カメラを使うことで立会いの時間を節約でき、生産性の向上につながる。」などの意見が出されました。

中部地方整備局からは、「書類だと ASP を使うようになる。打合せだと Web、立会だと Web カメラによる臨場という形にコロナ禍を受けてその方向に進んでいく。

Web の練習を積んで欲しい。生産性の向上のところでは、デジタル化は必須である。」などの回答がありました。

フリートーキングでは「働きやすい職場づくり」に関して、「男女別の更衣室、トイレは当然のこと。魅力ある職場づくりとして先輩職員に相談できる雰囲気作りが必要」、「建設業の3K という先入観は、実際に現場に来てもらうとかなり緩和される。積極的に建設業の魅力を伝えることが大切」、「福利厚生面でプライベートが守られていることや週休二日をアピールすれば、入職希望者が増えるのではないか」などの意見や提案が出ました。



会場の様子



会場の様子

技士会



市川会長



市川技術管理課長

中部地方整備局



川上技術調整管理官



片岡建設産業課長

愛知県



加藤開発技術調整官



廣瀬建設機課課長

名古屋市



森下技術指導課長



現場技術者出席者の皆さん



